

昭和館と学校をつなぐ広報・広聴紙

昭和館だより



平成16年11月1日

第3号 編集・発行



〒102-0074

東京都千代田区九段南1-6-1

☎03-3222-2577

http://www.showakan.go.jp



「体験ひろば」では、当時の衣服を着て学ぶことができます。



横浜・疎開問題研究会から寄贈されたジオラマ（1階ロビーに展示）



6階常設展示室「子どもたちの戦後」

五階の映像・音響室では、昭和十年頃から三十年頃にかけての日本国内の様子を映した静止画（写真）や動画（フィルム）を自分で選んで見ることができ、レコードも簡単な操作で聞くことができます。四階の図書室では昭和時代に関する本や写真集



**より深く学習できる
映像・音響室、図書室**

も行っていただけますので、ご予約の上、ぜひご利用ください。



**見て、ふれて学べる
常設展示室**



伝えたい、戦中・戦後のくらし。
昭和館は、学校の授業を支援する
施設として親しまれています。

などを多数保存しており、閲覧できるようになっています。何かの疑問を調べてみると、疑問が解けるだけでなく、ほかのいろいろな事も分かると思います。



図書室では、独自のシステムにより目次も検索できます。



映像・音響室のタッチパネル式検索端末

昭和館見学作文コンクールのお知らせ

昭和館では来館した小・中学生の見学作文コンクールを行っています。今年はいよいよ三回目をむかえ、新たに厚生労働大臣賞が加えられることになりました。昭和館を見学した感想を四百字づつ原稿用紙で二〜三枚程度にま

とめてみませんか。見学した時の記憶がよみがえってくることでしょう。

優秀作品は昭和館のホームページで紹介し、多くの方々に読んでいただきます。賞品もグレードアップしました。小・中学生の諸君、見学作文コンクールに応募してすてきな賞品をゲットしよう！ 詳しい内容は昭和館に資料をご請求ください。

九段下名所案内

【牛ヶ淵】

戦中・戦後を通じ、食料確保のため人々はあらゆる場所を畑にしてみました。終戦後に食料事情の悪化はピークに達し、現

在の昭和館と日本武道館に面した牛ヶ淵の堤も段々畑に変えられました。今は緑に覆われたその堤を、昭和館の二階広場から見渡すことができます。ご来館の折りに、どうぞお立ち寄りください。



上・「野菜畑になった皇居のお濠の堤」米国立公文書館提供 昭和館所蔵 下・昭和館撮影



この一冊

<図書資料>

昭和子ども図鑑 (ホブラ社)



昭和 20 年代から 40 年代の昭和子ども誌。「家族と生活」「子どもたちの遊びと生活」「小学校と街の風景」というテーマのもとに、当時の暮らしをわかりやすい文章と絵で解説しています。各項目のキーワードも使いやすく、見ても楽しい図書です。(図書室で閲覧できます。)

1学期の主なご来館校

鳥取市立高草中学校 3 年生	124 名
都立世田谷工業高等学校	134 名
都立芦花高等学校 2 年生	117 名
東京電機大学高等学校	344 名
青梅市立新町小学校 6 年生	173 名
日野市立南平小学校 4 年生	107 名
富士宮市立黒田小学校 6 年生	100 名



授業でも使えるパンフレットを差し上げています。



昭和館に行ってみよう！

昭和館は開館以来、約九万人の小・中学生、高校生が見学に訪れています。生徒たちは当時の労苦を伝える資料に感銘を深くしています。当館では説明員による案内も行っており、**学校団体には昼食場所を提供しています。また、学校団体はバスも無料で駐車できます。**団体・班行動での見学先(事前のご予約をできるだけお願いします)として、土曜日・日曜日の学習の場として、ぜひご利用ください。



音声ガイドの貸出を行っています。



今日の一枚

写真資料



人形作りの内職をしている親子たち (昭和二十三年 東京)

戦後数年間、食べていくための仕事が少ない時がありました。子供たちもお母さんの内職を一生懸命手伝いました。これは外国へ輸出する人形です。皆の小さながんばりが、実は日本が立ち直る大きな力になるのです。



ご意見をお寄せください

本紙を読まれたご感想、昭和館へのご意見、また実際に見学された際のご感想等を下記にお送りください。今後の編集と、館の運営の参考にさせていただきます。

〒102-0074

東京都千代田区九段南1-6-1

昭和館 総務課

ファックス 03-3222-2575